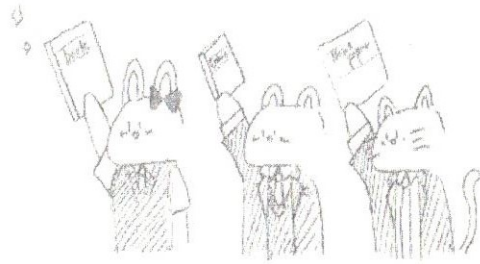


図書委員のオススメ本

『僕が愛したすべての君へ』『君を愛したひとりの僕へ』
(ハヤカワ文庫 JA) 乙野四方子 著 早川書房 2016

この2つの物語は、「人々は世界が少しずつ違うのはパラレルワールドの中を日常的に移動しながら生活している」ということが証明された世界が舞台となっています。

主人公が、違う世界に生きる自分は自分なのか、という問題に直面しながらも、大切な人のために生きている姿を見て、「もし自分がこの世界にいたら…」と考えさせられる作品です。



Read book!!



兼 さん

